

【0607】ニボルマブ+FP 療法

【投与スケジュール】1 コース=28 日

一般名	商品名	略号	投与量	1W	2W	3W	4W
ニボルマブ	オプジーボ	Nivo,OPD	480mg/body	↓ Day1			
シスプラチン	シスプラチン	CDDP	70mg/m ²	↓ Day1			
フルオロウラシル	フルオロウラシル	5-FU	800mg/m ²	↓ Day1~5			

【投与日のタイムテーブル】

滴下順	薬品名	用量	投与時間
Day0			
主管①	<入院注射>ソルデム 1 輸液 500mL	3 本	持続
Day1			
主管①	<入院注射>生理食塩液 500mL	3 本	持続
側管①	オプジーボ点滴静注	480mg/body	30 分以上かけて
	生理食塩液 100mL	52mL(全量 100mL)	
側管②	20%マンニトール注射液「YD」300mL	1 本	30 分
側管③	パロノセトロン静注 0.75mg	1 本	30 分
	アロカリス点滴静注 235mg	1 本	
	デカドロン注射液 3.3mg	3 管	
	生理食塩液 100mL	1 本	
側管④	シスプラチン(規格無し)	70mg/m ²	2 時間
	生理食塩液	300mL	
側管⑤	フロセミド注 20mg	0.5 本	5 分
	生理食塩液 50mL	1 本	
側管⑥	フルオロウラシル	800mg/m ²	24 時間
	生理食塩液 500mL	1 本	
Day2-3			
主管①	<入院注射> 生理食塩液 500mL	3 本	持続
側管①	デカドロン注射液 3.3mg	2 管	15 分
	生理食塩液 50mL	1 本	
側管②	フルオロウラシル	800mg/m ²	24 時間
	生理食塩液 500mL	1 本	
Day4-5			
主管①	<入院注射> KN3 号輸液 500mL	2 本	
側管①	デカドロン注射液 3.3mg	2 管	15 分
	生理食塩液 50mL	1 本	
側管②	フルオロウラシル	800mg/m ²	24 時間
	生理食塩液 500mL	1 本	

<オブジーボ>
インラインフィルター(0.2 又は 0.22 ミクロン)を使用すること

催吐性	高度
組織傷害性	シスプラチン: 炎症性 フルオロウラシル: 炎症性 オブジーボ: 非炎症性抗がん剤
代表的副作用	オブジーボ 間質性肺炎、大腸炎・重度の下痢、免疫性血小板減少紫斑病、甲状腺機能障害、腎障害、脳炎、静脈血栓塞栓症、重症筋無力症・心筋炎・筋炎・横紋筋融解症、1型糖尿病、肝機能障害・肝炎・硬化症胆管炎、神経障害、副腎障害、重度の皮膚障害、Infusion reaction
	シスプラチン >10%・・・悪心・嘔吐、食欲不振、倦怠感、腎機能障害、骨髄抑制 1～10%・・・聴力障害、末梢神経障害、電解質異常(低 Mg 血症) フルオロウラシル >10%・・・食欲不振、下痢、口内炎、骨髄抑制 頻度不明・・・心筋虚血、白質脳症

【注意事項】

高度催吐性に対して制吐剤アロカリス点滴静注を投与するため、アプレピタントは不要(オブジーボ)

- 患者選択に当たっては初回投与前チェックリストで投与の可否を判断すること
 - 調製後は速やかに投与を開始すること
- (シスプラチン)
- 光に対して不安定なため、直射日光を避け、点滴時間が6時間を超える場合は遮光して投与すること
 - 腎毒性軽減のため、十分な量の補液が必要である。尿量や体重の変動に注意し、必要に応じ利尿剤を追加すること
 - 先発品は「ランダ注射液」です。2018年12月に後発品に切替え